

日本労働年鑑 第57集 1987年版
The Labour Year Book of Japan 1987

第三部 労働組合の組織と運動

V 労働者福祉運動

3 生活協同組合運動

1 組織・事業の概況

地域の購買生協を中心に、生協は過去一〇年余り順調に組織と事業の拡大をつづけ、八五年度末(八六年三月末)には、一〇一八万組合員組織となった(共済生協を除く日本生協連会員。第75表)。組合員は、八五年度、八六年度とも約一〇〇万人の純増であり、八六年度末には一一〇〇万組織となる見通しである。

組合員の拡大に支えられて事業も供給事業を中心に伸長をみせている。八五年度は前年度にひきつづき二ケタ伸長であり、八六年度はデフレ傾向等を反映して一ケタ伸長の見通しであるが、平均的には他の小売業にくらべ高い伸びである(第75表)。

一一〇〇万組織に

八五年度末の購買生協の地域組合員は、地域生協で五七五万世帯、一部職域生協の地域組合員の三五万世帯を加え六一〇万世帯である。これは全国三八九九万世帯にたいし一五・七%の組織シェアである(第76表)。日本生協連の人口三万人以上の市町における組織率調査(八五年度末現在)では、平均一七・五%で、二〇%以上が一三七市町、三〇%以上が八四市町となっている。都市の規模別にその状況をみると、人口三〇万人以上一〇〇万人未満が二〇%弱で組織率が高い。県庁所在地では神戸市の六〇・二%をはじめ、盛岡、札幌、山口、仙台などが四五%以上であり、全県民対比で三〇%以上の県は兵庫、鳥取、北海道、宮城であり、二〇%以上が群馬、神奈川、京都である。八六年度末には岩手、秋田、山形などの県も二〇%をこえると思われる。

八四～八五年度に、徳島、松江、新潟の各市に本格的に地域生協づくりがすすみ、全国の県庁所在地にはすべて組織されることとなった。全国の主要都市に二ケタの組織率をもつ生協が存在する状況となり、日本の生協運動はこれまでのアウトサイダー的な小さな存在から、社会的に注目される大きな存在となったといえる。そのこともあり、八四年～八六年と一部の商業者団体が自民党に働きかけるなかで生協活動を規制しようとする動きが、激しく執拗にすすめられた(後述)。

共同購入を中心にした活動

生協の事業活動の特徴は、共同購入の高い伸長にみることができる。購買生協の供給高は八五年度実績で一兆六七七二億円であるが、その約三七%が共同購入である。地域生協だけで見ると、店舗五〇%、共同購入四五%、その他五%の供給構成であり、ここ数年、共同購入の比重が年々高まっている。

生協の店舗は全国で二〇三九店(八五年度末)となっているが、地域生協の店舗は一〇三七店で

約半数である。全国の小売店舗数は一六〇万店であり、生協の運営する店舗は非常に少ない。購買生協の供給高の全国小売高(自動車、ガソリンを除く)に占めるシェアは八五年度に初めて二%をこえた(第75表)が、その比重は組織率の高さに比べ、きわめて低いといえる。組合員一人当たり月間利用高が二万円以下であり、伸び悩んでいること(第75表)が特徴である。

大規模化する単協

共同購入は班(八五年度末の実態で平均六・一三世帯)を中心に予約や分配をする無店舗供給方式であり、その分野で組合員が増えたこと、また店舗でも班づくりを意識的にすすめていることから、地域生協における班組織率は高まっている。八五年度末の班数は六七万五〇〇〇班(うち地域生協六一万班)であり、班員数は三七七万人(うち地域生協は三七一万人)である。

出資金は八五年度、八六年度(推定)とも一八%をこえる伸び率であり、自己資本の充実がはかられている(第75表)。

このように組織と事業の拡大がつづいていること、また単位生協の組織合同(合併)などもあったことから、地域購買生協の単協規模が拡大している。組合員三万人(世帯)以上の地域生協は八三年度末の二七単協から八五年度末は三五単協、一〇万人以上が七単協から九単協となっている。平均規模では八五年度末(カッコ内は八三年度末)、組合員二万六〇〇〇人(二万一〇〇〇人)、出資金三億六〇〇〇万円(二億五〇〇〇万円)、供給高一億二〇〇〇万円(四九億四〇〇〇万円)である。平均値が高いのは、たとえば供給高では、年供給高三〇〇億円をこえる九単協が全体を引きあげているのであり、地域生協の四七六単協中、過半数をこえる二六八単協は一〇億円未満である。単協間の組織・事業の規模格差の拡大がこの間の特徴のひとつである。

日本労働年鑑 第57集 1987年版

発行 1987年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年8月1日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1987年版(第57集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
